

学位被授与者氏名	與田 秀機（よだ ひでき）
論文題目	シニア世代の生涯学習に関する研究 — 多様なシニア世代新たなロールモデル
論文審査結果の要旨	<p>日本においては、高齢者の生涯学習は居住地型のプログラムとして取り組まれている。それは、與田氏も指摘しているように、エルダーホステル協会が解散したように、欧米型の仕組み（滞在型）が普及定着してこなかったことにも現れている。</p> <p>そうした経緯と実情を、滞在型と居住地型を比較分析することによって、定年前の意識化の差違が、シニアの学習行動の規定要因になっていることを調査によって明らかにしている。シニアの3つの層①定年後に向けて、②定年したから、③定年しても、に対応した教育機会の創出、そして壮年期の学習の重要性など「高齢者の社会教育」ではなく、「高齢者の生涯学習」として捉え直しを提起する研究として評価できる。</p> <p>仕事中心の職業生活からワークライフバランスが問われている今日、社会動向の変化に合わせて、社会教育の取り組みの見直しと充実、そしてシニア世代の新たなロールモデルに対応する準備をしていく必要性が実証的に明らかにされている。</p> <p>そのため、本論文を修士論文として評価する。</p> <p>平成25年2月19日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館301教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答をした後に、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>